

スペイン語を専攻する学生のための教材研究

バロン・アルトゥーロ

我々の研究グループの研究テーマは、外国語学部スペイン語学科の学生向けにヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR / スペイン語でMCER）の A1 および A2 レベルをカバーする会話教材を開発することである。

2014年度は、スペイン語の教育とスペイン語圏の文化の普及を目指して設立されたセルバンテス文化センターで定められたガイドラインおよび2年前から1年次の授業で使用している会話のテキストを参照し、文法・機能の両面から1年次に適した学習事項や1年次で修得すべき基礎語彙を

吟味し、その一覧の作成を行った。また、外国語教育のテキストとして工夫が必要ないくつかの点——すなわち指示文や説明文に日本語訳を付けるかどうか、文法用語をどのように提示するか、文法補遺は必要かどうか、学生の自宅学習に必要な情報をどう組み込むかなど——の検討にも取り組んでいる。

今後は、モデル原稿を作成して具体的な問題点をグループで話し合い、この研究が目指す、学生の学修にとって最も効果的なテキストの開発につなげるべく議論を続けていく予定である。
